

大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名称	(仮称) 夢洲駅南東出入口整備工事		
会議名称	第 1 回	大阪市大阪港湾局設計・施工技術連絡会議	
開催日時	令和 5 年 3 月 27 日 (月) 13 : 25～13 : 45		
開催場所	大阪港湾局第 6 会議室 (ATC ビル ITM 棟 10 階)		
出席者 (役職・氏名)	発注者	設計コンサルタント等	受注者
	【大阪港湾局計画整備部 保全監理課】 保全監理課長：田野 保全監理課長代理：原 設計担当課長代理：武井 担当係長：小沢 (設計)	【中央復建コンサルタンツ(株)】 管理技術者：名越 干野 (WEB 参加)	【大林・熊谷・東急・ 東洋特定建設工事共 同企業体】 現場代理人：久保田 監理技術者：足立
議題・議事の内容			
○議題 本体工の構造変更について 【大阪港湾局計画整備部保全監理課】 ・本工事は、令和 5 年 1 月 31 日付けで契約締結を行い、令和 6 年 8 月 30 日を工期として、(仮称) 夢洲駅南東出入口のエレベーター・エスカレーターなどの基礎となる土木構造物を整備する工事である。 ・駅前施設設計の進捗に伴い、本体工の内空寸法を 20m から 18.5m に変更する。 また、受注者より、土木構造物の下床版端部を側壁外面と同一面とし張り出しのない構造にすることで、床版と側壁を同一の防水材料で均一な施工ができ、加えて張り出し部の狭隘な箇所での型枠工、鉄筋工、防水工の作業の輻輳が解消されることで工程短縮が図られる提案があった。 受注者から、提案に対する効果について説明をお願いします。 【大林・熊谷・東急・東洋特定建設工事共同企業体】 ・防水性に関しては、先防水で使用するシート (特殊 EVA 系接着性防水シート) は後防水シートに比べて躯体との接着性に優れるため、下床版端部を張り出しのない構造にすることで、下床版端部、側壁外面ともに先防水とすることができ、防水性の向上が期待できる。また、工程については、下床版の張出をなくして先防水とすることで 1 ヶ月程度の短縮効果が期待できる。 【大阪港湾局計画整備部保全監理課】 ・この構造変更の提案について、設計コンサルタントとしての意見はどうか。 【中央復建コンサルタンツ(株)】 ・床版端部の張り出し構造をなくすことで本体・土塊重量が減り、浮き上がりに対する抵抗力も減るが、その分、側壁厚を 1.8m から 2.0m に変更すれば対応可能なため問題ない。また、本体工の内空寸法については、支間長が縮小されることで、構造的には当初設計よりも安定する方向になるため問題ないと考え 【大阪港湾局計画整備部保全監理課】 ・本日の議事を踏まえて、構造の変更を行う。			
			以上